

## 千波小学校 元気な私たち・千波小学校

6年2組 柳田 里穂



千波小学校の自まんは、笑顔であいさつができること、ボランティア活動がさかんなことです。

毎月「マナーアップ週間」があり、1年生からの年生まで、正門や昇降口前などで、元気なあいさつをします。このときは、「千波太陽マン」のイメージイラストキャラクターも一緒にあいさつをしています。あいさつをする千波小学校のみんなが仲よくなれます。

また、ボランティア活動もたくさんです。「レッツマナーアップ」の活動では、低学年と高学年がいつしょに落ち葉はぎや、あいさつ運動昇降口そろうじなどを、自分たちで選んで行います。低学年の人たちにやり方を教えたり、いつもと違う友だちと活動したりすることはとても楽しいです。

これからも全校で力を合わせて、元気なあいさつの声がびびく、きれいで楽しい学校にしていきたいです。

## 飯富中学校

### 小規模校の絆きずな

3年1組 寺尾 智香

現在、飯富中学校の全校生徒数は、65名で、水戸市内の中学校では、生徒数が2番目に少ない小規模校です。

しかし、飯富中学校では、小規模校の良さを生かし、幼稚園や小学校と連携して「幼・小・中合同運動会」を開催するなど、さまざまな行事を工夫しながら実施しています。このような取り組みを、市民の皆さんなどにも知ってもらえたらとてもうれしいです。

飯富中学校の行事で、印象的なものは、水戸市の音楽のつどいへの参加です。合唱部がなく、生徒数も少ないため、全学年で参加しています。毎年、合唱練習での音合わせや伴奏者の決定には苦労していますが、小規模校だからこそ、全員で作りをあげられる楽しさがあり、また、1つの事をみんなで行うことで学校全体がまとまり、団結力が強められていると思います。

私は、飯富中学校ならではの団結力を誇りにして、これからも生徒同士の絆を一層深めていきたいです。



第14回  
千波小学校  
飯富中学校

14



## 子育て けいじぼん

### 子どもたちの心や 成長を支援

NPO法人  
ウィメンズネット「らいず」  
ホームフレンド事業  
(児童訪問援助事業)



「らいず」や学生、市で、研修・交流会を行い、情報の共有などを行います

#### お兄さん、お姉さんのような存在

DV被害に悩む女性と子どもをサポートするNPO法人「らいず」。市と協働して、DV被害や虐待被害、ひきこもり、さまざまな家庭環境などにより、心に傷を抱える子どもに、大学生・院生を派遣する事業を行っています。

派遣される学生は、月に2回程度、話し相手や相談相手として、担当する子どもの家庭を訪問しています。支援を受ける子どもたちにとって、学生たちは身近な目標。年齢の近い、「お兄さん・お姉さん」のような存在ができることで、自分は一人ではない、信頼できる相手がいる、という安心感が芽生えます。また、保護者が抱える精神的な負担も軽くなります。

#### 子ども目線で接する

学生の皆さんは、実際に子どもたちとふれあう中で、子どもたちが求めていることを感じとりながら、一人一人に合わせて接します。「学生たちは、意欲を持って自分で考えて取り組んでいる」と話す、「らいず」代表理事の三富和代さんと事務局の坂場由美さん。今後は、教育現場に携わっていた人や、学生時代に事業に参加し、就職しても続けたいと考えている社会人などにも参加してもらうことを検討しています。

「らいず」では、これらの事業を通して、子どもたちを支援するとともに、DVや虐待の問題に取り組む活動や、暴力根絶の考え方を、次世代に伝えていきます。

#### 「らいず」 ヘルプライン

「らいず」の相談員が、電話で相談に応じます。一人で悩まず、ぜひご相談ください。  
受付／水・金曜日、午前10時～午後4時  
相談電話／☎222-5757

学生の派遣を希望するなど、ホームフレンド事業については、市子ども課へお問合せください。  
問合せ／☎232-9111

